



BETHEL通信

2022年3月号（第224号）

松山ベテル病院 松山市祝谷 6 丁目 1229 番地 TEL089 - 925 - 5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

『できるADL』『しているADL』

3階西病棟は、ベッド数 29 床の『障害者施設等一般病棟』です。基幹病院からの転院、在宅や介護施設からの入院を受け入れており、毎月およそ 15 名の方が入院されています。私自身、昨年より配属となりました。今までは長期療養を必要とされる患者さまの病棟での勤務が多かったので、今の病棟の入退院の速さについていくのに奮闘の日々です。

患者さまはご高齢の方が多く、入院時には環境の変化に精神的に落ち着かなかったり、何らかの不安を抱えて療養されています。なるべく自宅の環境に近づけたり、家族からの情報をお聞きして安心・安全な療養環境が提供できるように職員で注意してケアを行っています。

日々の業務の中で『できるADL（日常生活活動）』と『しているADL』を近づけ、患者さまの持つ能力を最大限に発揮できる環境提供の大切さを感じています。リハビリスタッフと協働し、【口から食事を摂る】、【歯みがきをする】、【トイレで排泄ができる】など、リハビリで獲得した生活動作能力を実際の生活場面で活用し、日常生活の質が少しでも向上するよう関わりたいと思っています。退院後の生活を考慮しながら、目標設定を行い、日々の一つ一つの日常生活を大切にして退院に繋げていきたいと考えています。

患者さまも長引くコロナ禍で、家族の方の面会も制限され寂しさを感じておられます。患者さまの心により添える看護・希望が持てるような関りができるよう、自分になにができるか日々考え看護していきたいと思っています。



- ★『できるADL』リハビリ等の場面ではできるが、
自宅や病棟などの環境下では一人でできない動作
- ★『しているADL』その方の普段の日常生活動作レベル

（3階西病棟 看護主任 渡邊 泰子）



コロナにおけるマスクについて



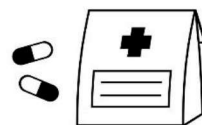
横浜港でのクルーズ船内での新型コロナウイルス感染症の報道から、もう 2 年が経過しています。コロナウイルスは、次々変異し我々に襲いかかってきています。それに対し、三密を避ける、マスクの装着、手洗い、換気に対応していたのが、昨年にワクチンと治療薬という大きな武器を手に入れました。病院・施設内に新型コロナウイルスを持ち込ませないようにするために、面会制限が行われています。入院患者さんや入所者さんが、家族と会えないことで孤立し寂しさが進んでいます。また、普段からマスクをしていることから、互いの表情がわかりにくくなっています。

欧米では、コミュニケーションの基本として口元を見せるという考えから、マスクを外している映像を目にすることもあります。我が国では、マスクをしていることが日常となり、逆にマスクを外すことに抵抗を感じている人が多いです。

最近、マスクのことを“顔パンツ”と表現されることがあります。マスクを外して顔を人前にさらすことは、人前で下着を脱ぐことぐらい恥ずかしいと感じている人がいると報道されていました（中国新聞デジタル 2021 年 12 月 6 日配信）。マスクを外せない理由は、マスクにより 2 割増しに美しく見える、表情を読み取られない、コンプレックスのある顔の一部を隠すことができるなどです。市販のマスクには小顔に見せる効果をうたっているものもあります。

マスクをすることの必要性はわかりますが、人との関係や関わりにおいての影響は考えさせられます。子どもの発達へ及ぼす影響も危惧されています。第 6 波のオミクロンにより家庭内感染が急増しており、家庭内でもマスクを装着し、家族との食事の時間をずらすことなどを推奨する報道も見られます。人と食事を一緒にする機会が減り、我々はどのように他者と関係を築いていけばいいのか不安になります。読者の皆様は、マスクをすることをどのようにお考えでしょうか。コロナが鎮静化した時、マスクを外したいですか、このままマスクをしていますか？どちらにしてもマスクを気にしない日が早く来ることを願う日々です。

薬の飲み合わせ



薬には同時に服用するのを避けるべき“飲み合わせ”があるのをご存じですか？飲み合わせが悪いと薬の体内への吸収を弱めてしまったり、薬の作用を強めてしまったりして、期待する薬本来の効果が得られない場合がありますため、注意しなければなりません。

代表的なものでは感染症で処方される、ニューキノロン系、テトラサイクリン系の抗生剤とマグネシウム、カルシウム、鉄などの金属イオンを含む薬剤の組み合わせがあります。

前者の抗生剤はマイナスの電荷を帯びた構造を持ち、後者の薬剤はプラスの電荷を帯びた陽イオンとなります。これらを同時に服用すると、それぞれのプラスとマイナスの電荷が反応し、キレート(chelate)と呼ばれる複合体を形成します。キレートとはギリシャ語で“カニのはさみ”を意味する言葉で、キレートを形成すると薬剤が金属イオンをがっちりと挟み込んで、化学的に安定した状態になります。この状態では小腸などの消化管粘膜を通ることが出来ず、吸収が阻害されてしまいます。ニューキノロン系抗生剤のレボフロキサシンと緩下剤の酸化マグネシウムを同時服用した場合、体内の最大血中濃度が約 40%低下するというデータもあります。



そのため、ニューキノロン系、テトラサイクリン系の抗生剤と金属イオンを含む薬剤を服用する場合は金属イオンを含む薬剤を 1～2 時間あとにずらして服用する必要があります。したがって当院では入院中の患者さんにこれらの抗生剤を調剤する際、金属イオンを含む薬剤との同時服用をさけるため、薬袋に注意喚起のラベルを付けて払い出しています。

ニューキノロン系・テトラサイクリン系抗生剤の	
クラビット・ミノサイクリン・グレースビット	服用時
⇕	
マグミット・カマグ・フェロミア顆粒・乳酸 Ca 等	
クエン酸第一鉄 Na	1～2 時間ずらして飲む事！

※ラベルに記載された薬品名は当院採用品のみ。

また金属イオンとキレートを形成するのは薬剤だけではありません。コーヒーや緑茶などに含まれるタンニン酸もその一つです。以前は鉄剤を飲む際はお茶で飲んではいけない、と指導することもありましたが、鉄剤を水とお茶で服用し比較した場合に両者の貧血改善効果に差が生まれなかったことから、影響は少ないと考えられています。

しかしながら、例に挙げた薬剤以外にもお茶やコーヒー、ジュースで飲むと効果に影響が出る薬剤はありますので、薬を服用する際は『なるべく水と一緒に』飲んでいただくのがベストです。

(参考元: クラビット錠インタビューフォーム、フェロミア錠インタビューフォーム)

(薬剤課 柳瀬 友美)

外来診療日のお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

3月9日（水）、3月23日（水）

◎多田 聡 医師（神経内科）

3月3日（木）、3月17日（木）、3月31日（木）

◎細川 裕子 医師（神経内科）

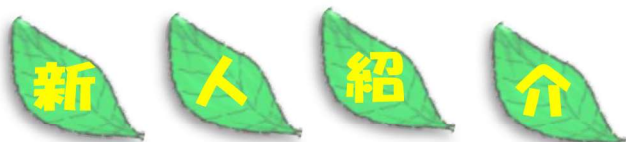
3月10日（木）、3月24日（木）

◎加藤 喜久美 医師（内科）

しばらく休診いたします



●月曜日午後の漢方外来は引き続き休診いたします



にしわき ゆうき
西脇 有紀



配属部署：3階西病棟
職種：看護師
出身地：松山市
星座：うお座
趣味：旅行、ライブ
好きな物：コーヒー、スイーツ
尊敬する人：父親
好きな言葉：笑顔、大丈夫
抱負：1日でも早く仕事を覚える様、頑張ります。

探してみてね！

ベテル病院内に飾ってあります。さて、どの場所に飾ってあるでしょうか？



マドンナに
マドンナ贈る
愛媛かな
(平岡 恵風)

コロナさん
もうギブアップ
顔を見せて
(四季)

ひな壇は
我が家の客間
占領し
(藤本 加奈子)

ベテル句会

投句箱は受付・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。

『ベテル通信』についてのご意見やご要望はご意見箱へお願いします。

掲載中の写真についてはご本人様、ご家族様の許可を得ています。

発行日 2022年2月24日